



2024年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社デジタルハーツホールディングス
 代表取締役社長 CEO 筑 紫 敏 矢
 (コード番号：3676 東証プライム)
 問 合 せ 先 執行役員 CFO 伊 丹 英 人
 (T E L : 0 3 - 3 3 7 3 - 0 0 8 1)

2024年3月期 通期連結業績予想と実績の差異 及び個別業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年11月9日に公表いたしました2024年3月期の通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたこと、及び、通期個別業績においても前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値の差異について

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,000	2,500	2,560	550	24.69
実績 (B)	38,790	2,039	2,059	176	7.94
増減額 (B-A)	△1,209	△460	△500	△373	
増減率 (%)	△3.0	△18.4	△19.6	△67.8	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	36,517	3,000	3,152	799	36.50

(2) 差異の理由

エンターテインメント事業の国内デバッグサービスにおいて、クライアントのゲームタイトルの開発遅延や開発中止の影響を受け一時的に売上が縮小したことに加え、エンタープライズ事業においても、ソフトウェアの複雑化等に伴い新規案件の受注にかかるリードタイムが長くなっている影響や期末需要が想定通りには伸びなかったこと等から、売上高は計画を下回る結果となりました。これに伴い、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益も計画を下回りました。

なお、直近では、エンターテインメント事業においてグローバル案件が着実に増加しており、エンタープライズ事業も引き続き需要が旺盛であることから、次期の2025年3月期においては、両事業とも増収増益基調へと転換し、通期連結業績として過去最高の売上高・営業利益の更新を計画しております。

2. 通期個別業績と前期実績の差異について

(1) 2024年3月期 通期個別業績と前期実績値の差異(2023年4月1日～2024年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A) (2023年3月期)	2,152	156	211	△824	△37.66
当期実績 (B) (2024年3月期)	5,383	3,493	3,585	1,857	83.39
増減額 (B-A)	3,230	3,337	3,374	2,682	
増減率 (%)	150.1	—	—	—	

(2) 差異の理由

子会社からの配当金等に関する収入が増加したことにより、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益は前期実績を大幅に上回りました。

以上